

## 平成 17 年 3 月 25 日 ブリーフィング説明内容

以下は、平成 17 年 3 月 25 日におこなったブリーフィングにおける弊社会長 細谷 英二による説明内容です。

### 【組織改正・役員異動について】

りそなグループではご承知のとおり、システム統合を進めておりますので、営業力強化等の本格的な組織改正はシステム統合後と考えておりますが、新しい健全化計画のスタートの年ですので、懸案となっているテーマにつきましては、組織を若干いじって、新しい気持ちで挑戦していきたいと思っております。

今般、りそな銀行におきまして、サービス改革本部を設置いたします。社長直属の組織として、横断的な組織運営をやりたいと、サービスの更なる品質の向上、CS の向上、特にホスピタリティということを健全化計画に謳っておりますので、ホスピタリティの徹底等はこのサービス改革本部が中心になってやりたい、あるいはお客さまの声を反映した施策展開等、この本部を中心に改革を推進したいということでもあります。

同時に、ローコストオペレーションの徹底ということはりそなグループにとって大きなテーマであります。これもやはり縦割りでやっていたら成果が出ないということで、オペレーション改革部というのを作り、特にシステム統合後は本格的に改革を進めなければならないということで、推進の準備体制を含めましてひとつの部にまとめて推進をしたいということでもあります。

営業店の事務改革、事務プロセス改革、融資事務改革、センター改革と四つのテーマを一括してこの部で推進していきたいということでもあります。システム統合と関係のない施策につきましては、どんどん準備体制をとって、やはり秋以降、できるだけスピード感を持って成果が出るようにしていこうということでもあります。

オペレーション改革部担当としては、融資企画部長としてすでに融資の事務改革を進めている田村執行役を起用したということでもあります。

サービス改革本部については、本部長はりそな銀行社長に自らやってもらい、実務ベースについては、桔梗常務執行役に取り組んでもらうということでもあります。

### 【「関西大学産学連携推進ファンド」の設立について】

すでに関西大学と包括的協定を結んでおりまして、関西大学の学生さんにもインターンシップで来ていただいておりますが、さらに今回、その目玉といたしまして「関西大学産学連携推進ファンド」というものの取り扱いをしたいということでもあります。スコアリング商品であるスーパーリテールと、その他の一般の融資の二つで、それぞれ既存のお取引先、あるいは新しいお取引先を開拓していきたいということでもあります。

今回のファンドの特徴は、スーパーリテールについては、ご融資残高の 0.1%、一般の融資については、0.01%をりそな銀行から関西大学に寄付をするというものであります。その寄付金を関西大学での社会貢献活動や研究開発の一助にさせていただきたいということで

あります。

順調に 300 億円の貸し出しができれば、粗っぽい計算ではありますが、10 百万円から 12 百万円の寄付ができるのかなと思っております。

りそな銀行といたしましても、このファンドにより、ビジネスの拡大を狙っているわけですが、民間の調査機関のデータを見ますと、関西大学ご出身の社長さんが今、約 6,100 名おられるそうです。その内、りそな銀行でお取引のできている会社は約 1,400 社しかないということですので、特に関西大学ご出身の社長さんのおられる会社との新しい取引ができれば、りそなグループにとっても非常にプラスになるのではないかということでもあります。

いずれにせよ、提携についてはスタートしたばかりでありますので、今後とも関西大学と協力して、地域社会・経済に貢献をしていきたいということでもあります。

#### 【偽造キャッシュカード被害に対する補償実施について】

先月の記者会見で、偽造カード対策というものを発表させていただきました。すでに、引き出し限度額を 200 万円まで下げるなどの施策を行っております。IC カード化等につきましては、もう少し時間がかかりますが、着実に対策をやっていきたいと考えております。

すでに偽造カードで被害にあわれ、お申し出をいただいているお客さまに対する補償についてであります。順調にお話し合いが進んでおりまして、著しい過失が認められないお客さまに対しては、今月末からそれぞれの口座に補償の額を振り込んでいきたいと考えております。

なお、お客さまの都合で、来月以降しかお会いできないというお客さまは来月以降になりますが、今週末までに大半のお客さまとはお話し合いができておりまして、弁護士の見解を待って、補償させていただきたいということでもあります。

#### 【フジテレビジョンによるニッポン放送株式の TOB 応諾について】

最近、新聞・雑誌を販わしておりますライブドアとニッポン放送の件でございますが、りそな銀行にとって、フジサンケイグループは重要なお客さまの一つでありまして、当事者でありますので、今の動きについてはコメントすることはできませんが、当社は 18 万株（保有比率 0.54%）ニッポン放送の株式を保有しておりました。ご承知のとおり、当社としては持ち合い株式の解消ということで、昨年来、ニッポン放送さんに対しても持ち合いを解消させて欲しいということをお願いしてまいりましたが、なかなか結論が出なかったわけでありまして、年が明けまして、今回の TOB ということで、ぜひ協力をして欲しいというお申し入れが 1 月時点でございました。当社としても、これで持ち合い株式の解消ができれば、今年度末のグループで 4,000 億円、単体で 3,000 億円という目標の達成の一助となりますので、TOB を受けるという方向で、協力いたしましよとのご返事を差し上げておりました。ところが、2 月 8 日にライブドアからのニッポン放送株の取得の動きが出まして、TOB 価格を上回る時価になってきたということから、当然、弁護士等の意見を照会しながら、りそな銀行が持っている株式がいわゆる「純投資株」ではなく、「政策保有株」「持

ち合い株式」であり、これまで相当メリットのあったお取引先であるので、TOB に応じることは、取引関係の観点からも、まったく問題がないと、経済合理性があると判断をいただきましたので、最終日にフジテレビジョンの TOB に応じるという形にさせていただいております。

本来であれば、個別のお取引については、オープンにはしないわけではありますが、銀行側にお問い合わせもあり、やはり、社会的関心が非常に高いテーマであるということで、改めて売却をした主旨をコメントさせていただいたわけでございます。

#### 【女性ファンドについて】

先月から、女性のための女性によるファンドということで、「Love Me! 」という商品を発売しておりますが、今日時点で 70 億円ぐらいだと思いますが、非常にお客さまからの支持を受けて、順調に販売できているのではないかと思います。

#### 【集中再生期間終了にあたって】

今月末で、集中再生期間が終了するわけではありますが、まだ、決算等の計数が見えてきておりませんので、具体的なコメントはなかなかできないわけではありますが、皆さま方、そして、公的資金のおかげで、私は 1 年 9 ヶ月という短い期間の中で、一定の成果を上げることができたのではないかなと思っておりますが、同時に、昨年の秋の新しい健全化計画の中で発表させていただきましたように、営業力の強化や、グループ全体のガバナンスの強化など、まだまだ課題は山積しております。特に、まだシステム統合が完了していないということは、りそなグループにとって大きな課題でありますので、実質的に集中再生期間が完了したという思いは、今の段階ではまったく感じておりません。まだまだこれから挑戦していかなければならないという思いで一杯であります。

私からの説明は以上でございます。

以上